

## 第2学年 生活科学習指導案

日 時 令和4年10月14日（金）5校時

場 所 体育館

児 童 男子6名 女子6名 計12名

指導者 教諭 菊池佳恵

### 1 単元名 めざせ 野さい作り名人

### 2 単元の目標

野菜などの植物を育てる活動を通してそれらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ適切な世話の仕方、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、植物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

### 3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	野菜などの植物を育てる活動を通して、適切な世話の仕方やそれらは生命をもっていることや成長していることに気付いている。	野菜などの植物を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	野菜などの植物を育てる活動を通して、植物への親しみをもち、大切にしようとしている。
小単元の評価規準	①育てる野菜に合った世話の仕方があることに気付いている。	①植物を育てた経験を生かして、育ててみたい野菜を選んだり、育てる場所を決めたりしている。	①野菜について関心をもって、栽培に必要なことを考えている。 ②おいしい野菜を育てたいという願いをもって計画を立てようとしている。
	②野菜にはそれぞれ適した育て方があることに気付いている。 ③野菜には生命があることや成長していることに気付いている。	②野菜を育てるためにどんなことに気を付たらよいのかを考えている。 ③わからないことについて調べたり、観察したりしている。 ④自分の世話と関連付けながら、収穫している。	③苗や種を大切に扱い、土を作ったり、苗を植えたり世話をしたりしようとしている。 ④野菜の成長の様子に関心をもち、大切に世話をしようとしている。 ⑤継続して育て続けたことに自信をもち、大切に収穫しようとしている。
	④野菜への親しみが増し、上手に世話ができるよ	⑤野菜の世話をした活動を振り返り、大切なことや	⑥野菜を育てたことへの満足感を味わいながら振り返ろうと

	3	うになったことに気付いている。	工夫したことなどについて素直に表現している。 ⑥野菜を育てる前の自分と比較して、野菜への親しみが増したことを絵や文で表し現したり、伝え合ったりしている。	している。
--	---	-----------------	---------------------------------------------------------------------------------	-------

#### 4 単元について

##### (1) 教材について

本単元は、学習指導要領の「身近な人々、社会及び自然にかかわる活動に関する内容」の(7)動植物の飼育・栽培、「動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。」をもとに構成している。具体的な視点「オ 生産と消費」「キ 身近な自然との触れ合い」「ク 時間と季節」「コ 成長への喜び」を位置付け設定している。

本単元は、野菜を育てる活動を通して、それらが育つ場所、変化や成長に関心をもって働きかけ、それらが生命をもっていることや成長していることに気づき、植物に親しみをもち、大切にできるようにすることを目指している。児童は、社会の変化によって野菜を栽培する機会や栽培する場面に出会う機会が乏しくなっている。本単元では、野菜の栽培活動を行うことで、自ら主体的に野菜に関わる活動を行わせたいと考える。また、「土を作る→栽培する→食す→片付ける→土を作る」と循環していることにも気付かせたい。

##### (2) 指導について

本校の研究主題「主体的・対話的な学び」に関して、生活科においては植物や動物・物も対象と捉えてきた。この単元においては、野菜に名前を付ける、話しかけながらの水やり、絵に表し(擬人化)発表などに参加させる、手紙を書くなどである。また、本時に関しては「発表を聞いて、枝豆は何と言っていると思うか。」と問うことで枝豆と対話していることにつながると考える。

##### (3) 児童について

七ツ森の豊かな自然を生かし、児童はこれまで多くの自然体験をしている。1年生の時は教室前であさがおを育て、学級園では、ニンジンや小岩井農場から頂いたジャガイモなどを栽培していた。2年生では、ミニトマトと枝豆やサツマイモを育ててきた。1年生の時は畝作りやマルチ張りなど上学年にやってもらったが、今年は1年生の分も自分たちで行い、植え方も教えた。

活動の時、同じような内容・意見になり、考えの幅が広がらないことがあるため、教科書や教師から提示することで様々な考え方があることに気付かせるようにしてきた。タブレットは、7月から、作物の様子を写真に残すために活用してきた。サツマイモは、調理体験のほか、家でも味わわせる。枝豆の一部は大豆にし、その変化を楽しんできた。節分の時に教室で大豆を煎らせ、香りや味も楽しく体験させたい。

## 5 指導と評価の計画（全13時間）

小単元	学 習 活 動	評価規準	評 価 方 法
1 2 時 間	めざせ 野さい作り名人（1） ○育ててみたい野菜について話し合い，栽培への意欲を高める。	思① 主①	・発言
	野さいを そだてよう（1） ○育てたい野菜を調べたり話し合ったりして，決める。	知① 主②	・発言 ・行動観察
2   7 時 間	なえを うえよう（2） ○野菜の種類に合わせ，苗を植えたり種をまいたりする。	知② 主③	・発言 ・行動観察
	せ話を しよう（3） ○野菜の世話や観察をする。 ○観察してきたことをまとめる。	知③ 思②③ 主④	・行動観察 ・日常記録（付箋） の分析
	しゅうかくしよう（2） ○育った野菜の大きさや色などを確かめて収穫し，収穫の喜びを友達と一緒に味わう。	思④ 主⑤	・反応 ・行動観察
3   4 時 間	野さいの ことを ふりかえろう（3） <b>本時：3/3</b> ○観察してきたことをまとめる。 ○大切に世話をしてきたことを振り返り，手紙を書く。	知④ 思⑤⑥	・発言 ・手紙の内容分析
	何を かんじたかな（1） ○野菜の成長の変化や収穫の喜び，自分のよさや成長について考えたことを伝え合う。 ○教科書も使い活動を振り返る。	主⑥	・表現物の分析

## 6 本時の指導（11／13時間）

### （1）ねらい

育てる過程でのさまざまな出来事を振り返り，育てた野菜への親しみが増したことに気づき，自分で野菜を育てたことへの自信をもつことができるようにする。

### （2）本時の指導構想

春から今まで機会あるごとに記録してきたものを紹介する時間の2時間目である。各グループ（3G）の発表については，感想を伝えさせる。最後は，自分が野菜になったつもりで手紙を書くという形で振り返らせたい。

(3) 展開

段階	学習活動	教師の支援（・）	評価・資料等
つ か む  5 分	<p>1 前時の振り返り</p> <p>○前時の発表・感想発表場面を思い出し、 本時の課題を確かめる。</p> <p>2 学習課題の確認</p>	<p>【見通し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時のグループ（1G）の発表を思い出させる。</li> <li>・残り2Gの発表→手紙を書く、の順。</li> </ul>	栽培の まとめ
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     ミニーちゃん、さっちゃん、まっちゃん ありがとう！                 </div>		
ま な び あ う  20 分	<p>3 活動</p> <p>(1) グループ発表</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     サツマイモの葉っぱがい っぱいでビックリした                 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     枝豆の味はみんな同じでしょうか                 </div> <p>(2) 感想発表</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     ミニトマトの種がとても小 さいのに実があんなに大き くなってすごいと思った。                 </div>	<p>【学び合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返る材料となる野菜の成長や世話をしてきた様子をまとめたもの（写真・付箋など）を用意させる。</li> <li>・協力して発表させる。</li> <li>・野菜になったつもりで、感想を発表しても良いことを伝える。</li> </ul> <p>グループの発表内容</p> <p>①まとめたものの中から各自紹介したいことを発表させる。</p> <p>②みんなに教えたいこと（2～3）はグループで相談させる。（対話）</p>	思⑤
ふ り か え る  20 分	<p>4 振り返りの手紙</p> <p>(1) 書く。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     いっぱい水をくれてありがとう                 </div> <p>(2) 紹介する。</p> <p>5 次時の見通し</p>	<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思い浮かばない児童へのヒントとして、書いている途中でも紹介する時間を設ける。</li> </ul>	思⑥

(4) 評価

評 価 規 準	達していない児童への支援
<p>【思考・判断・表現】</p> <p>⑤野菜の世話をした活動を振り返り、大切なことや工夫したことなどについて素直に表現している。</p> <p>⑥野菜を育てる前の自分と比較して、野菜への親しみが増したことを絵や文で表現したり、伝え合ったりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介する部分を事前に打ち合わせる。</li> <li>・感想は、発表態度の関するものでも良いことにする。</li> </ul>

(5) 板書計画

ミニーちゃん, さっちゃん, まっちゃん ありがとう!

(野菜の絵)

各グループの  
まとめ

ありがとう!

こんなことが

- ・わかったよ。
- ・楽しかったよ。
- ・うれしかったよ。
- ・びっくりしたよ。
- ・がんばったよ。